



6年生の音楽の家庭学習 1



音楽の学習では、教科書のお手本の^{えんそう}演奏を活用してすすめます。音を出すときには、家の人に^{きょか}許可をもらい、時間を決めてやりましょう。

6年	組	番	名前
----	---	---	----

お手本の^{えんそう}演奏は、教育芸術社のサイトから自分の学年の教科書画像をクリックして^{さが}探しましょう。
<https://textbook.kyogei.co.jp/library/category/小学校/>

♪ 教科書（教育芸術社）「小学生の音楽」6
P. 12～13「おぼろ月夜」 ^{もんぶしょうしやうか}文部省唱歌／高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲

1 ^{かし}歌詞について理解を深め、情景を思いうかべましょう。

1 菜の花畑に 入り日うすれ 見わたす山のは かすみ深し 春風そよふく 空をみれば 夕月かかりて においあわし	菜の花畑にかかっている 夕日の光が弱くなって 山のはしを見わたせば かすみが深くかかっている 春風がそよそよとふき、 空を見上げれば 夕方の月が空に出ていて ほんのりうすく色づいている
2 里わのほかげも 森の色も 田中の小道を たどる人も かわずの鳴く音も かねの音も さながらかすめる おぼろ月夜	村の辺りの明かりも 森の色も 田んぼの中のあぜ道を 行く人も かえるの鳴く声も お寺のかねの音も 全てがかすむ おぼろ月夜

2 歌詞やお手本の歌をきき、情景を思いうかべてソプラノパートを歌ってみましょう。

3 「おぼろ月夜」は全体で4段^{だん}で音楽が成り立っています。歌詞のまとまりや強弱の変化から曲想を感じ取って工夫して歌いましょう。下の表もうめましょう。

	読み方	意味	↓ 音 楽 の 流 れ ↓	どのような曲想、歌い方
<i>p</i>				
<i>mf</i>				
<i>p</i>				

自己評価（当てはまる顔に○をつけましょう。）

